



平成 20 年 9 月 4 日

各 位

会 社 名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
代表者名 代表取締役社長 田島 秀二
(コード番号：7707 大証ヘラクレス)
問合せ先 取締役業務本部長 秋本 淳
(TEL 047-303-4800 <http://www.pss.co.jp/>)

PSS、国立がんセンターと共同研究の実施で合意 プロテオーム解析の基盤技術の開発とがんマーカーの探索

プレシジョン・システム・サイエンス株式会社は、このたび、国立がんセンター(廣橋説雄 総長:東京都中央区)との間で、新規のプロテオーム解析技術の開発と、がんのバイオマーカーとして有用なタンパク質の同定を行うことを目的とする共同研究の実施で合意しました。本共同研究は、国立がんセンター研究所 プロテオーム・バイオインフォマティクス・プロジェクトの近藤 格 プロジェクトリーダーを中心に推進され、実施期間は、平成 24 年 3 月末までを予定しております。

新規のプロテオーム解析技術の開発では、複数のタンパク質の発現量を定量的に測定する技術を開発することとなっております。がんバイオマーカー探索では、開発の一定段階で実際の臨床検体を用いた解析を計画しております。臨床検体を用いた解析の実施に当たり、倫理委員会の許可が必要となる場合、規程どおりに申請し、許可を得た上で実施いたします。この共同研究の成果は、学会や論文などで発表される他、特許の取得、事業化が視野に入れられています。PSS からは、研究者を国立がんセンター研究所に出向させるほか、タンパク質自動精製装置(Purelumn™)、主要タンパク質除去装置(Magtration® System SA-1)、多項目同時解析装置(BIST™)等を提供し、将来の臨床システム、要素技術としての評価も実施いたします。

PSS では、日本の先端的ながん研究所である国立がんセンターとの今回の共同研究により、PSS のタンパク質自動精製装置、多項目同時解析装置等の性能と信頼性が確認され、研究開発及び臨床応用での可能性が一層広がること、これによって、人類にとって最後の難病とも言えるがん治療に、少しでも貢献できることを期待しております。

以 上